

武蔵台だより

第 366 号

発行 こま武蔵台自治会

Tel 982-3904

編集 広報部

武蔵台を担う若者世代との飲み会は刺激的でした！

こま武蔵台自治会 会長 柳沢弘二

夏祭りが終わり爽やかな季節を迎えました。厳しい暑さを耐え抜いた体をしばし休め、足元を見つめ、チョット先のことにも思いを巡らすによい季節かも知れませんね。

先日の夏祭りでの出会いがきっかけで、30代の若い世代から70代のアクティブシニアまで、世代を超えて30人ほどが集まる飲み会がありました。創生期の武蔵台小を学び舎にし武蔵台を故郷とする人、一度離れて戻った人、2年前に入居してきた人、色々な人たちが熱いトークを繰り広げました。

こんなに多くの若い世代が武蔵台に住んでいるんだ！武蔵台を本当に愛しているんだ！元気で持続していく街にしていこうとみんな真剣に考えている！だから会話のテンションがますます上がっていく！気づくことも多くあった素晴らしい時間を共有しました。今日参加した人は絶対に、新たな参加者も大歓迎！また集まろう！と約束をしあう夜でした。前もってテーマを決めたわけでもない飲み会。でも話は自然と今の武蔵台とこれからの武蔵台を真剣に語る若い世代とシニア世代の活気溢れる場となった一時でした。

1丁目のリノベーション-タウンハウスに若い世帯が入居されました。東大生の住い方コンセプトに基づいたリノベーションがどのように受け入れられていくか興味深いところです。

空き家が徐々に増えています。一方で、新築や改築をして若い世代が入って来ています。世代の交代が少しずつ始まってきた兆候と捉えても良いのでしょうか？

私たちは、既存の概念に捉われすぎることなく、物事の見方判断には360度の視角と視野があることを念頭に、街の維持管理・発展を考えていくことが必要です。街の安全維持活動、環境美化の維持活動、お年寄りの居場所づくりや世代間交流の機会づくりなど、多面にわたり考察を深め、自分たちでできることと、行政の対応・対応を求めていくことを、現実に照らし合わせながら考え、持続性のある活動を展開していかなければなりません。皆さんの賛同と参画を得ることを心から願っています。

いざという時の地域の「絆」それがあらゆる減災につながります

防災のキーワードその1は、「地域防災力」。突発的な災害に対して、まずは自助、共助が柱となります。災害時の救助活動で一秒を争う時に、手を差し出すことができるのは身近にいる健常者の人達です。キーワードその2は、「コミュニケーション力」。『向こう三軒両隣』は近隣の良好なコミュニケーションの基盤です。

9月1日の市総合防災訓練では、住民全体の



安否確認訓練、公民館で①初期消化、②応急救護、③AED蘇生法習得の訓練が行われました。公民館の訓練では参加者が少なく残念でした。

今回の安否確認率は約69%。昨年の40%なかばより大きく改善され、報告時間も早くなりました。住民の皆さんの防災意識の高まりが示された結果だと思います。

今後も、自助、共助の意識を高め防災・減災に結び付けたいと思っています。防災訓練へのご協力ありがとうございました。(副会長 水谷)

【役員報告】

七月（七月二十日）

1 協議事項

- 夏祭りの準備について
- ・担当、仕事の確認
- 地区班再編について
- ・班の見直しをしていく必要があるのではないかと会員より声がある
- ・大掃除について
- 延期、担当場所・方法⇨出来る範囲で。歩道内のみ作業

2 連絡事項

- 体育祭の準備について
- ・担当、仕事の確認
- ・雨天時⇨台小体育館で開催

3 報告事項

今年度区長要望に関するヒアリング結果と見直しについて

八月（八月十七日）

1 連絡事項

- 防災訓練について
- 公民館文化祭について
- ・模擬店は焼き鳥
- 地区班再編について
- ・班の見直しをブロック及び班の現状実態の把握を進める
- ・各班で話し合いをすることを事務局側より提案
- 公民館文化祭について
- ・焼き鳥の出店。

多峯主山 不思議な出会い

私たちが住む武蔵台は自然豊かな町です。庭に植えられている木、花は園芸種が大部分です。しかし、一步多峯主山に足を踏み入れると、日本固有の植物、外来種その植物の多様性に驚かされます。そして不思議な出会いがあります。「タマゴダケ」夏から秋にかけていろいろなキノコに出会えます。タマゴダケが地表に現れたときはたまごの形をしているのでこの名がついたと思われます。しかもたまごの形のときは真っ赤でとても目立ちます。このタマゴダケをよく見てください。目があるようで、じっと見つめられているような気持ちになりました。このキノコの目線で山路を眺めて見ました。私が歩道とは違う目線に驚かされました。このタマゴダケは食用できます。なかにはこのタマゴダケをレジ袋一杯に取る人がいます。大勢の人が取ります。タマゴダケの世代をつなぐために、取るのは少しにしませんか。私の願いはそっと見守ってほしいということです。(A.M)

- 2 協議事項
- ・地区班再編は個人情報問題があり難しいのでは？事務局より
- 3 報告事項
- ・資源回収⇨古紙が盗難にあっているので注意してほしい



秋のバス旅行のお知らせ

9月2日(月)～申込み開始

10月9日(水)

日帰りバス旅行を行います
鬼押し出し園と白糸の滝と
旧軽井沢銀座の散策です
会費6000円「峠の釜めし」
のお土産付き

地区体育祭

9月29日(日) 8時～
武蔵台小学校校庭
雨天・小学校体育館

～文化祭～

10月19・20日
自治会ブースは
焼き鳥・大学芋

特別号を出すにあたって…少子高齢化になり夫婦共働き、高齢者就労などボランティア活動の時間を持つことが難しい時代です。また総会でも話があったように経費削減の問題もあります。広報に3年関わり世代間で意見は違います。見ていない、有ることを知らないという人もいます。本当に必要としている内容は？など日々考えています。情報発信方法や回数など老若男女、一部聞こえてくる強い意見だけでなく小さな意見にも注目していきたいと思い今回特別号という形をとりました。当たり前というのは時代によって違ってくるのではないのでしょうか？一度立ち止まり全体を見てみたいと思いました。 3月号も特別号とします。

広報部長 渡部